

兵庫県パリ事務所

インターンシップ報告書

経済学部 2 学年

氏名 濱田 真実

期間：平成 30 年 3 月 5 日～3 月 30 日

● インターンシップの研修内容

- 3/12IUT 分校インターネット学科 1 年生の 2 クラス：簡単な自己紹介といろはかるた
- 3/14 サン・ローラン高等部：大学生生活の紹介(仏)といろはかるた 木下先生同伴
- 3/15 サン・ローラン中等部：折り紙の「手裏剣」と「鶴」 パリ事務所の萱嶋さんら見学
- 3/16UPEM 本校理学部数学科：大学生生活の紹介といろはかるた、池田先生の日本語授業の参観
- 3/19 クロミエ・ラファイエット中学：折り紙の手裏剣と鶴
- 3/20 吉富志保さんにインタビュー
- 3/21 クロミエ・ジュールフェリー高校：私の中学高校生活の紹介といろはかるた
- 3/23UPEM 文学部英文学科スペイン文学科：大学生生活の紹介(仏)
- 3/26IUT 分校インターネット学科 1 年生の 2 クラス：大学生生活の紹介(仏)と折り紙の手裏剣
- 3/27 加藤久絵さんにインタビュー
- 3/28 クロミエ・ジュールフェリー高校：日本三大祭りの紹介
- 3/29UPEM 文学部英語・スペイン語科 1 年と 2 年の 2 クラス：日本の女性問題についてプレゼン
- 3/30UPEM 理学部数学科：日本の女性問題のプレゼン、文学部英文学科スペイン文学科：お別れ会

● インターンシップで必要な英語力・スキル

日常生活で使う程度の英会話。ホストファミリーとは、英語で会話していました。

授業で発表する際に PowerPoint はすべて英語で表記しました。

簡単なフランス語とマナー

● インターンシップで得たこと

私たちは、小学・中学・高校・大学と幅広い世代の日本語もしくは日本文化紹介のクラスで授業をしました。そこで、私たち以上に日本のアニメや漫画を知っている人が多いことや、日本人が作ったアートや作品に興味を持っている人がいることなどに驚きました。また、日本とフランスの異なる点として、日本はフランスよりも清潔で、安全というイメージを彼らは持っていることを知り、日本の良いところを改めて知ることができました。



サン・ローラン中等部での授業風景
折り紙の鶴を教えている様子

兵庫県立大学の中西先生の友人のフランス在住の吉富志保さんと加藤久絵さんにインタビューさせていただきました。フランスと日本の子育て環境の違いや、外国で暮らす大変さなどを教えて頂きました。また、日本の報道番組で国際問題が取り上げられる時間が少なく、日本人の対外意識がどんどん欠けていくのではないかという加藤さんのお話はインタビューの中で一番印象に残りました。そして、このお話は今後の私たちの人生の参考になると思いました。



ジュールフェリー高校
かるたをしている様子

● 印象に残ったこと

フランスで約一か月過ごしてわかったことは、一般的にイメージする美しいパリの街並みの道外れには、物乞いをするジプシー達があります。また、交流していた学生の中で生粋のフランス人は少なく移民系のフランス人が非常に多いです。これらの様子を目の当たりにして、今後の日本が抱える移民問題について非常に考えさせられました。

ホームステイを通して、ホストファミリーと一緒にスーパーマーケットに行き、美味しい家庭料理を教わったり、またバス・地下鉄などの公共交通機関を駆使するなど、観光旅行では味わえない現地の人々の日常生活を体験できて良かったです。

● インターンシップが今後どう活かされていくか



ストライキの日にホストファミリーの
Axelle と習字体験

フランスは日本と違って、いろんな肌の色や髪の毛の毛質が異なる人がたくさんいます。なので、今後もし日本に移民が流入してきたら、今の日本人はフランス人のように上手く受け入れられるのかと思いました。移民を受け入れるには、相手のことを知って文化やその国の背景を知ることが重要であると考えました。これからはより国際ニュースや各国が抱える問題に耳を傾けていきたいと思います。

インターンシップ中、現地の学生とは英語で意思疎通をとっていました。そこで自分の意思を英語で伝える能力がまだまだ不足していることを実感しました。帰国してからは、TOIECの勉強や大学の授業を通して英語の能力をさらに磨いていきたいです。フランス語も勉強する意欲が湧きました。

● 後輩たちへのメッセージ

語学留学と異なって同じ年頃の大学生だけでなく、中高生とも授業を通して交流する機会があるところが、このインターンシップの良い点だと思います。フランスの学生は日本人よりも授業に積極的で、授業をしていて本当に楽しかったです。授業の時間は毎日あったという間でした。

日本にいただけでは気づかない移民問題やフランスが抱える課題を知ることができます。そして、日本の良いところ・悪いところ、フランスの良いところ・悪いところにも気づくことができます。これらを知り気づくことで、自分の視野が広がり将来につながっていくと思いました。フランス・ヨーロッパの国に行ってみたいと思う人にはぜひ行ってほしい研修です。フランスは英語圏ではないので、最初からフランスを研修・留学先に考えない人もいますが、実際の世界において英語を母国語で話す人は非常に少ないので、私たちと同じ第一外国語として話すフランス人と英語で意思疎通をとる経験はなかなかできない経験だと思います。

また、フランス料理にはまずいものは滅多にないので、食べ物で困ることはないと思います！！パンはもちろん美味しいです。エスカルゴも美味しいですよ。

何かに挑戦できるのは一番体力も勇気もある学生の間と思うので、ぜひフランスの地でインターンシップに挑戦してみてください。